

日本気象学会第23期役員選挙告示

現在の役員は、昭和61年7月で2年の任期が満了となりますので、定款に従い、次の要領で次期役員選挙を行います。

1. 選出する役員

理事 27名

監事 2名

2. 立候補および候補者推薦の届出

イ. 候補者の資格

昭和61年4月1日現在の通常会員

ロ. 届出方法

立候補する者および候補者を推薦する者は、次の書類を付し、選挙管理委員会に届ける（郵送でもよい）。

i) 候補者氏名、生年月日、所屬機関、卒業学校名と卒業年次、種類別（理事、監事の別）。

ii) 候補者を推薦する場合は候補者の承諾書。

iii) 候補者の所信、とくに、気象学会が当面していると思われる重要問題について具体的な考え方を400字以内にまとめたもの。

ハ. 届出締切

昭和61年4月24日までに選挙管理委員会に必着のこと。

ニ. 宛名

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁観測部測候課気付 日本気象学会選挙管理委員会

ホ. 候補者の資格審査

選挙管理委員会は、前項に従って届出された立候補者および推薦候補者の資格審査を、昭和61年4月25日に行い、公示する。

ヘ. 候補者名簿は受付順とする。

3. 投票

イ. 有権者資格

昭和61年4月1日現在の通常会員

ロ. 候補者名簿および投票用紙

昭和61年5月下旬にこれらを送付しますから、6月15日までに到着しないときには、直ちに選挙管理委員会に申し出てください。

ハ. 投票期日

昭和61年7月3日までに選挙管理委員会に必着のこと。

ニ. 投票方法

理事、監事別に連記無記名文書投票とする（方法の詳細は投票用紙と共に送ります）。

4. 開票および結果の告示

イ. 開票期日

開票は昭和61年7月4日気象庁内で行います。

会員はこの開票に立ち会うことができます。

ロ. 開票結果の告示

開票結果は、当日発表し、かつ、「天気」7月号に公示します。

昭和61年1月17日

日本気象学会選挙管理委員会

東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁観測部測候課内 (Tel. 03-212-8341 内線 552)

(委員長) 鯉沼正一

(委員) 青梨和正、麻生 正、伊藤朋之、

榎嶋邦夫、黒川信彦、中嶋 隆、

永田洋二、増田耕一

(アイウエオ順)

定款及び細則（抜粋）

定款第14条

理事および監事は、次に定めるところに従い、通常会員のうちから通常会員の無記名投票によって選挙する。

1. 理事は、細則に定める地区毎の定数を全国の通常会員が選挙する。

2. 監事は通常会員の互選で定める。

定款第19条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。役員に欠員を生じたときは、細則で定める次点者をもって補い、補欠役員任期は前任者の残任期間とする。役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

細則第7条

1. 各地区の理事の定数は、各地区の会員数に応じ、次のとおりとする。ただし、関東地区については、この法人の事務の円滑な運営をはかるための定数を次のとおり加算する。

北海道地区（北海道）……………2名

東北地区（宮城県、岩手県、青森県、秋田県、

山形県、福島県）……………2名

関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、

埼玉県, 群馬県, 栃木県, 新潟県, 山梨県) 8名 加算分5名
 中部地区 (富山県, 石川県, 福井県, 長野県, 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県) 2名
 関西地区 (大阪府, 京都府, 滋賀県, 和歌山県, 奈良県, 兵庫県, 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 香川県, 愛媛県, 徳島県, 高知県) 4名
 九州地区 (山口県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県, 熊本県, 宮崎県, 鹿児島) 3名

沖縄地区 (沖縄県) 1名
 2. 監事は, 通常会員の中から2名互選される。
 3. 通常会員は, 理事および監事に立候補することができる。
 4. 他の通常会員によって書面により理事および監事に推薦され, かつそれを承認した通常会員は, 推薦候補となることができる。
 5. 理事および監事は, 立候補者および推薦者以外の通常会員からも選挙される。
 6. 理事および監事の選挙は, それぞれ種類別に連記する無記名文書投票とする。

第23期第13回常任理事会議事録

日時 昭和60年11月28日(木) 13:30~16:20

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 花房, 田宮, 土屋, 吉野, 河村, 能登, 松野, 春日

議題

審議事項

1. 昭和61年度予算(案)について

担当理事より会員減による減収の可能性や, 収益の見込みについて根本の見直しが必要であることが指摘された。

なお, 関連して事業収入を増す努力(視覚にうったえる刊行物等の企画等)が必要である等の意見が述べられた。

2. 事務の機械化について

担当理事より購入候補機種およびソフトを含めた経費について詳細な説明があり, 60, 61年度分割払いで購入することが承認された。

3. 日本気象学会第24期選挙管理委員会名簿及び選挙日程が報告された。

4. 会員の増加をはかることについて

- (1) 通常会員・賛助会員の入会の案内をアトラクティブなものに改訂する。教育と普及の委員会が原案作成を担当する。3月中に配布体制ができることとする。入会金免除期間を設定

する。

(2) 賛助会員へのサービス

イ. 夏季大学の受講料, テキスト代等を1名に限り免除する。

ロ. 賛助会員の要望により専門家の紹介を行うことを本会の業務とする。

(3) 「天気」に個人消息欄(名簿の補足も兼ねる)

を設けること, 気象庁内刊行物の興味ある情報(測器の変更等)を転載することを考えること, レポーター委嘱により情報を収集すること等の意見が出された。

5. 評議員会の開催について

(1) 1月下旬に開催する。形態等は前例に準ずる。

(2) 和達清夫名誉会員の文化勲章受賞祝賀会を評議員会の後の懇親会と同時にに行い, 学会としての祝意を表することとする。

(3) 日程等について評議員の都合を問い合わせ, 次回常任理事会で決める。

6. 会員の新規加入の承認について

個人会員西郷雅典ほか12名および団体会員日本航空運航乗員訓練部業務グループの新規加入が承認された。